

昭和四十六年度

私の年度誌

桜田 裕

現在、私が當時を顧みますと、私の主将時代は次の二点に集約されたと思います。一つは、試合に勝つこと、即ち悲願の一部入りと慶早戦に勝利を収めること。

更に一つは、部員減少の傾向に歯止めをすること、の二点であります。

五月の東京学生柔道優勝大会で一部入りに失敗した我々は、十月十日に行なわれる慶早戦に勝つ事を目標に練習に励みました。

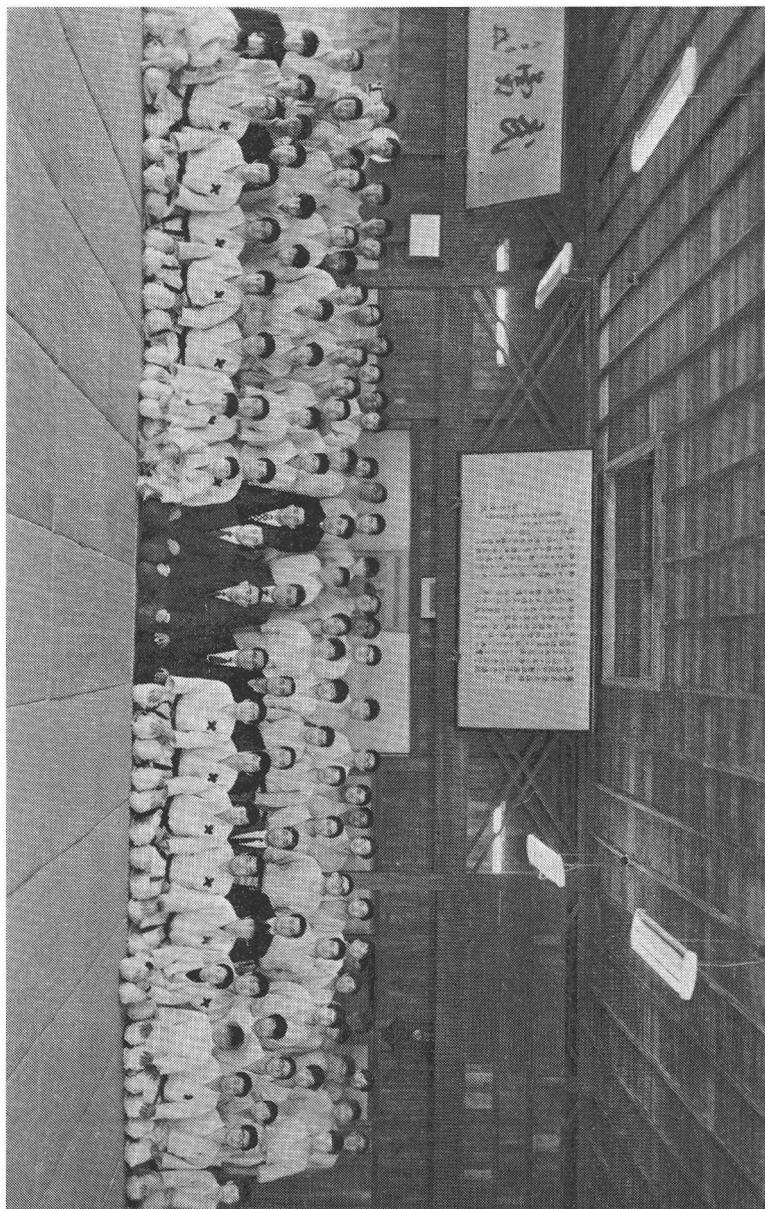
そして、夏には、我々の力を蓄えるべく、レベルの高い名古屋、関西へ遠征しました。

名古屋での愛知学院大学、大隈鉄工には勝ちましたが、愛知県警、大阪府警、京都府警、同志社大学、天理大学では敗北し、実力の差を痛感しました。

この名古屋、関西遠征での敗北は、慶早戦に向けて、より一層の努力を要することを私に認識させました。

遠征後は、更に練習方法についても、色々の改善をし努力もしましたが、結果は、無念にも打倒早稲田はならず、主将としての一年は終わりました。

扱、こうした結果に終ってみて、冒頭で述べた二点ですが、この問題は二律背反するのではないだろうか、当時随分私は悩みました。



昭和四十六年卒業生送別記念

私が主将に就任早々、二年生に気合を入れる意味で全員に坊主を命じましたが、徹底的な反発を買い、何人かの部員は部を去って行き、結局、二年生は三名になりました。

彼等は、体育会よりも同好会を選んだのです。こうした風潮は、柔道部のみならず、他の部にもみられ、又、他の大学にも現われた傾向でした。

体育会も、同好の志の集まりであることには変わりなく、その限りにおいては、体育会も同好会かもしれませぬ。

しかし、決定的な違いは、部員一同が、規律ある統制の下に一致団結して、塾柔道部の勝利に向かって邁進することだと思えます。

だからこそ青春の情熱をぶつける価値がそこにあるのだと思っております。

しかし、部員の減少は、部に覇気がなくなり、練習相手にも恵まれず、レベルの低下を惹き起した事は事実です。この欠点を補う為に、他の大学への出稽古等、工夫しましたが、結果は前述した通りです。

昭和四十六年は、体育会と同好会の違いが表面に出てきた年、謂わば、体育会柔道部の在り方が改めて問われ、曲り角に差し掛かった年ではなかったかと思えます。

このような種々の問題はありましたが、塾柔道部に在籍し仲間達と精一杯の努力をし、青春を謳歌できたことは、楽しい思い出となっています。

こうした状況の中で過ごした一年間が、私の昭和46年誌です。

役員

普通部監督	志木高校監督	日吉高校監督	学連委員	体育会兼任常任委員	〃	〃	〃	幹事	主務	副將	主將	監督	師範	部長				
岩佐裕	大城朝幸	羽鳥順	小林正典	宗岡和男	小林正典	桜田裕	小林正典	山田公平	稲留秀明	藤原芳隆	西島良信	岡田雅博	桜田裕	友田義輔	清水直臣	佐藤正毅	清水正毅	氣賀健三

中等部監督 吉田君雄
 幼稚舎監督 山田百郎
 合宿所主務 佐久間陽三

寒稽古

恒例の寒稽古を一月八日(金)から二十一日(木)までの十四日間、午前五時三十分から七時まで、綱町道場において行なった。

志木高校は授業の関係で十三日から志木高道場に変更して行なった。

今年はずいぶん寒い日が多かったためか、皆勤者は百二十四名にも達した。

表彰者は次のとおりであった。

幼稚舎 松下 以下 二十四名。

普通部 湯本 以下 十四名。

中等部 大塚 以下 二十四名。

日吉高校 高松 以下 三名。

志木高校 野崎 以下 八名。

大 学 古屋 以下 三十名。

先 輩 石渡、阿部英、成毛英、成毛雅、広瀬、成毛

韶、山際、奥田、太田、杉浦、大島、友田、

中川、永田、清水、佐藤、門野、滝沢、植草、前田。

精勤証 羽鳥 信、小林卓哉（普通部）

大塚善裕（中等部）

古屋敏郎（大学）

努力賞 山際正明（先輩）

横浜市新人戦（日吉高校）

一月三十一日 於 神奈川県立体育館

一回戦

高松 広明 袈裟固 ○榊原（金沢高）

林 秀幸 優勢 ○村上（磯子工）

二回戦

小田 博雄 崩上四方 ○毛内（桐陰学院）

川島 順市 大外返 ○見留（神奈川工）

五藤 義道 縦四方 ○小島（日大高）

東京都新人体重別柔道選手権大会

三月十四日 於 講道館

本塾より四名出場したが、いずれも二回戦までに敗退した。

中量級

一回戦

牧野 高明 腕固 ○門田（国土館）

金谷 重信 優勢 ○万代（明大中野）

重量級

一回戦

沢原 俊英 大外刈 ○日串（拓大）

○作道 泰明 背負投 葎本（東海大）

二回戦

作道 泰明 合技 ○高橋（中大）

日吉高校対日大三高對抗試合

三月二十二日 於 日吉道場

点取試合

日吉高校 1 — 5 日大三高

先鋒 小池 肩固 先鋒 ○菅沼

平野 引分 前田

菅原 優勢 ○矢田

塩山 優勢 ○斎藤

小田 優勢 ○白川

川野 合技 増山

五藤 引分 遠藤

高木 引分 佐藤

副将 木村 合技 副将 ○鈴木

勝抜試合

大将 高松

引分 大将 桜田

日吉高校

3 — 4 日大三高

先鋒 ○平野

体落 先鋒 薄井

○平野

合技 白土

平野

引分 青山

小池

内股 細口

○塩山

大内返 細口

塩山

引分 矢田

管原

引分 近藤

小田

背負投 鈴木

五藤

合技 鈴木

木村

袈裟固 鈴木

副将 高木

引分 鈴木

大将 高松

引分 鈴木 大将 佐藤

本塾対大東文化大学对抗試合

三月二十六日 於 神奈川県警察学校

本塾 4 — 8 大東文化大学

先鋒 金谷重信 体落 先鋒 上田

○山内直樹 背負落 後藤

○石恒 幸雄

支釣込足 志土地

浜崎 哲太郎

腕固 鮫島

若宮 茂二

引分 野沢

高桑 君昌

内股 早田

前田 雄式

引分 中村

○沢原 俊英

引分 和田

○浜田 喜重

内股 鶴田

作道 泰明

引分 庄司

全在 憲明

引分 石川

宗岡 和男

引分 塩中

近藤 幸男

引分 山口

齋藤 守正

引分 高田

豊田 雅一

引分 北崎

稻留 秀明

合技 粕谷

西島 良信

引分 泉寧

岩佐 裕隆

押込 泉明

○藤原 芳隆

巴投 江口

山本 公惠

合技 奥川

山田 公平

引分 松本

大城 朝幸

大外落 惠谷

榎田 裕裕

裏投 押本

○岡田 雅博

引分 副将 加藤

大将 小林 正典

引分 大将 佐藤

東京都柔道選手権大会

三月二十八日 於 講道館
 本塾より四名出場したが、二回戦で全員敗退した。
 一回戦

桜田 裕 内股 ○宇津木(台東)
 山田 公平 体落 ○福島(警視庁)
 ○山本 恵 不戦 田中(日大)
 近藤 幸男 体落 ○前原(日大)
 二回戦
 山本 恵 優勢 ○渡辺(中大)

体育会功労賞選手章受賞者

功労賞 古屋敏郎、熊谷喜隆、塚本広道、検見崎栄、

田中清秀

選手章 高橋正憲、田原善平、木下順一、鈴木重利、

関 哲、那須義久、小林俊介、小林 寛、進

藤大二、鈴木重安

第十回東京学生柔道体重別選手権大会

四月十七日 於 講道館

軽々量級

一回戦

○山内直樹 優勢 池上(東大)
 ○全在 合技 柳川(農大)

二回戦
 山内 合技 ○星野(明大)
 ○全 優勢 衣斐(武蔵大)

三回戦
 全 内股 森田(拓大)

軽量級
 一回戦
 山田公平 優勢 ○山齋(明大)
 藤原芳隆 優勢 ○永野(中大)

中量級
 一回戦
 岡田雅博 優勢 阿部(東経大)
 ○近藤幸男 跳腰 関(立大)

重量級
 一回戦
 岡田 優勢 ○大高(日大)
 近藤 小外刈 ○恵谷(大東大)

一回戦
 大城朝幸 払巻込 ○加藤(大東大)
 山本 恵 優勢 ○吉川(拓大)

超重量級

二回戦

小林 正典 優勢 ○森 田(亜大)

無差別級

一回戦

吉田 君雄 小内刈 ○量 茂(専大)

○若 宮 茂二 優勢 富 山(拓大)

二回戦

若 宮 絞 技 ○切 通(青学大)

関東高校柔道大会神奈川県予選(日吉高校)

(個人戦)

五月五日 於 横浜市立南高校体育館

一回戦

○石 田 哲也 優勢 小 林(県川崎)

二回戦

石 田 優勢 ○山 口(戸塚)

埼玉県西部地区春季高校柔道大会(志木高校)

五月七日 於 松山高校体育館

団体戦

志木高校 3 — 4 坂戸高校

個人戦

志木高校 6 — 1 狭山カ丘高校

志木高校 0 — 4 飯能高校

軽量級

野村 佳秀 一回戦敗退

峰 尾 秀隆 一回戦敗退

中量級

和田 尚久 一回戦敗退

山中 英雄 一回戦敗退

重量級

沢 田 貞治郎 二回戦敗退

後藤 規夫 準優勝

第二十回東京学生柔道優勝大会

五月九日 於 日本武道館

一回戦 シード

二回戦

本 塾 0 — 3 大東文化大学

先鋒 大城 朝幸 引分 先鋒 大久保

岡田 雅博 逆十字 ○恵 谷

藤原 芳隆 優勢 ○松 本

山本 恵 合技 ○加 藤

小林正典 引分 押本
 副将 山田公平 引分 副将 奥川
 大将 桜田裕 引分 大将 佐藤
 この結果、全日本学生優勝大会への出場権を得ることができなかった。

関東高等学校柔道大会神奈川県予選（日吉高校）

（団体戦）

五月九日 於 磯子工業高校体育館

一回戦 シード

二回戦

日吉高校 5 — 0 日野 A

先鋒 湯本公庸 大内返 先鋒 渡辺

○高木 誠 崩上四方 小熊

○川島順市 崩袈裟 長井

副将 高松広明 内股 副将 間島

大将 岩崎保夫 内股 大将 相沢

三回戦

日吉高校 0 — 5 鎌倉学園 A

先鋒 湯本公庸 背負投 先鋒 林

高木 誠 優勢 ○増留

川島順市 優勢 ○山下

高松広明 袈裟固 副将 ○大楽
 大将 岩崎保夫 袈裟固 大将 ○町田

関東高等学校柔道大会埼玉県予選（志木高校）

五月十五日 於 埼玉県武道館

予選リーグ

本塾 1 — 4 秩父農工

先鋒 青木謙二 ○

野崎敬二 ○

大久保克則 ○

副将 小沢一誠 ○

大将 後藤規夫 ○

志木高校 3 — 1 与野農工

先鋒 青木謙二 ○

○野崎敬二 ○

大久保克則 引分

副将 小沢一誠 引分

大将 後藤規夫

神奈川県高等学校柔道大会（日吉高校）

（個人戦）

五月二十二日 於 日大藤沢高校体育館

軽量級

中量級

- 湯本 公庸 優勝 石田(中農)
- 湯本 不明 中島(相台工)
- 湯本 不明 ○岩本(日藤)
- (二回戦敗退)
- 石田 哲也 合技 西山(城北工)
- 石田 合技 ○三橋(相台工)
- (二回戦敗退)

- 高木 誠 関節技 海塩(松田)
- 高木 合技 松井(逗子)
- 高木 体落 長岐(翠嵐)
- 高木 背負投 ○浅井(浅野)
- 高木 優勝 ○北野(江南)
- (決勝トーナメントで敗退・ベスト二十)
- 川島 順市 不戦勝 八鍬
- 川島 大外刈 佐々木(泉須工)
- 川島 片羽絞 瀬川(関学)
- 川島 優勝 吉田(港)
- 川島 優勝 柏木(平塚農工)
- 川島 内股 ○浅井(浅野)
- (決勝トーナメントで敗退・ベスト十六)

- 重量級
- 高松 広明 不戦勝 緑川(法工)

本塾対東京大学対抗試合

六月十日 於 綱町道場

本塾 11 — 4 東京大学

- 高松 内股 ○栗原(藤沢)
- (二回戦で敗退)
- 岩崎 保夫 大内刈 金子(城北工)
- 岩崎 崩上四方 ○高木(日藤)
- (二回戦で敗退)
- 先鋒 ○高桑 君昌 袈裟固 先鋒 池上
- 高桑 崩上四方 引分 宇野
- 前田 雄次 合技 堀江
- 前田 体落 中林
- 前田 横四方 設楽
- 前田 引分 平山
- 吉田 君雄 背負投 森本
- 吉田 上四方 菅野
- 吉田 引分 神野
- 石垣 幸雄 内股 ○三本松
- 近藤 幸男 送足弘 ○三本松
- 豊田 雅一 大外刈 ○三本松
- 若宮 茂二 引分 三本松

本塾 4 1 茅ヶ崎定時制

先鋒 ○岩崎
 ○高木
 湯本
 副将 ○川島
 大将 ○五藤

大外刈 先鋒 金子
 崩上四方 石谷
 送足私 ○木田
 裸絞 副将 小松
 片羽絞 大将 名古屋

一回戦

本塾 3 2 平沼高校

先鋒 ○岩崎
 ○高木
 湯本
 副将 川島
 大将 ○五藤

横四方 先鋒 山田
 肩絞 平野
 優勢 ○三崎
 優勢 副将 ○原島
 優勢 大将 青山

二回戦

本塾 4 1 商工高校定時制

先鋒 ○岩崎
 ○高木
 湯本
 副将 ○川島
 大将 ○五藤

小内刈 先鋒 渡辺
 大内刈 牧
 背負投 ○長尾
 片羽絞 副将 松本
 合技 大将 松藤

三回戦

本塾 0 5 日大藤沢高校

先鋒 岩崎
 高木
 湯本
 副将 川島
 大将 五藤

背負投 先鋒 ○戸田
 合技 ○高坂
 崩上四方 ○高木
 内股 副将 ○内村
 崩上四方大将 ○山本

この結果、決勝トーナメント三回戦で敗退。

名古屋・関西遠征

本年度の夏季遠征は、八月十六日から二十五日まで、名古屋・関西方面で行なった。

遠征メンバー

師範 清水正一
 〃 佐藤毅
 コーチ 橋本昇
 主将 桜田山田百郎
 選手 岡田雅博 岩佐裕
 西島良信 吉田君雄
 豊田雅一 石垣幸雄
 山田公平 全在憲
 山本恵 前田雄式

対大隈鉄工所対抗試合

八月十八日 於 大隈鉄工所道場
本 塾 3 — 0 大隈鉄工所

小 林 正 典 高 桑 君 昌
大 城 朝 幸 浜 崎 哲 太 郎
沢 原 俊 英 高 田 信 哉
斉 藤 守 正 若 宮 茂 二
稲 留 秀 明 宗 岡 和 男

先鋒

若宮茂二

引分先鋒

未満

前田雄次

引分

箱田

沢原俊英

引分

森田

○小林正典

跳巻込

松元

○大城朝幸

崩上四方

大石

○山本恵

内股

坂元

山田公平

引分

津田

副将 西島良信

引分

又木

大将 桜田裕

引分

山下

対愛知県警察対抗試合

八月十八日 於 愛知県スポーツ会館

本 塾 2 — 6 愛知県警察

先鋒

宗岡和男

引分先鋒

中島

岩佐裕

引分

熊沢

全在憲

大内返

○丸山

前田雄次

大外刈

○浜田

○斎藤守正

弘釣込足

加藤

○小林正典

弘腰

○大岩

○大城朝幸

釣込腰

神谷

近藤幸男

引分

小西

山本恵

引分

菅谷

山田公平

体落

○伊藤

吉田君雄

引分

住田

豊田雅一

内股

○佐野

西島良信

優勢

○河原

副将 岡田雅博

引分副将

森島

大将 桜田裕

引分大将

小田

対愛知学院大学対抗試合

八月十九日 於 愛知県スポーツ会館

本 塾 6 — 8 愛知学院大学

先鋒

若宮茂二

引分先鋒

島田

高田信哉

背負投

○吉原

○浜崎哲太郎

弘腰

加藤

对奈良県警察对抗試合

先鋒	○大	城朝幸	一本背負先鋒	中谷
本塾	3	—	3	奈良県警察
八月二十五日	於	天理道場		
大将	○核	田裕	優勢	大将
副將	岡田雅博	小外刈	副將	○加藤(博)
西島良信	内股	○伊藤(典)		
豐田雅一	引分	柴田(有)		
○山田公平	背負投	笠原		
○山本恵	支釣込足	田中		
○小林正典	横四方	百地		
大城朝幸	引分	皿田		
沢原俊英	横四方	○伊藤		
齋藤守正	引分	加藤		
○稻留秀明	優勢	松下		
山田百郎	引分	鈴木		
岩佐裕	引分	藤田		
吉田君雄	合技	○下林		
石垣幸雄	大内刈	○飯田		
全在憲	縦四方	○木原		
前田雄武	引分	塚田		
高桑君昌	引分	○住友		
弘卷				

第十四回東京選抜学生柔道優勝大会

九月十一日 於 講道館

一回戦	シード			
二回戦				
先鋒	大城朝幸	優勢	先鋒	○池田
○山本恵	大外刈	森田		
山田公平	弘卷	○後藤		
小林正典	引分	市村		
核田裕	引分	山田		
副將	近藤幸男	引分	副將	能勢山
大将	○岡田雅博	優勢	大将	宮嶋
(代表戦)				
本塾	2	—	2	亜細亜大学

三回戦 ○小林 正典 優勢 後藤

本塾 3 — 2 立教大学

先鋒 大城 朝幸 引分 先鋒 角田

山本 恵 優勢 ○木村

○山田 公平 合技 中島

○小林 正典 優勢 小島

桜田 裕 引分 花房

副將 近藤 幸男 内股 副將 ○岸野

大将 ○岡田 雅博 大外刈 大将 森本

先鋒 大城 朝幸 引分 先鋒 長野

山本 恵 崩袈裟 ○武矢

山田 公平 引分 千葉

小林 正典 引分 大津

副將 前田 雄武 合技 副將 ○上村

大将 岡田 雅博 引分 大将 小林

この結果、本塾は三位にとどまった。

全日本東西学生柔道對抗試合東京予選会

十月二日 於 講道館

(軽量級)

一回戦

○高桑 君昌 横四方 広田(玉川大)

山田 公平 背負投 ○新町(日体大)

○稲留 秀明 背負投 浜田(東経大)

二回戦

高桑 弘腰 ○山本(東海大)

稲留 優勢 ○堀川(教育大)

(中量級)

一回戦

斎藤 守正 送襟絞 ○花房(立大)

浜田 喜重 払釣込足 ○若木(明学大)

大城 朝幸 背負投 ○組坂(東洋大)

桜田 裕 優勢 ○新井(早大)

二回戦

○岡田 雅博 合技 筒井(立大)

(無差別級)

一回戦

岡田 優勢 ○佐藤(大東大)

○山本 恵 優勢 工藤(法大)

二回戦 ○山本 大外巻込 井手(日体大)

三回戦 山本 大外刈 ○重松(明大)

全員・東西對抗の出場はならなかった。

第二十三回早慶對抗柔道戦

十月十日 於 講道館

審判員 八段 菊地揚二 八段 大滝忠夫

七段 細川久州男 七段 柴山謙治

本塾 9 — 13 早稲田

先鋒 沢原俊英(劔) 優勢 先鋒 ○林 克明(2)

全在 憲(2) 背負投 ○林

○岡田雅博(2) 大外刈 林 沢正伸(2)

岡田 合技 ○吉沢

宮入 清(2) 内股 ○吉沢

飯島真理(2) 合技 ○吉沢

○山田隆幸(2) 上四方 ○吉沢

○浜田喜重(2) 優勢 吉沢

若宮茂二(2) 引分 加茂下 明人(2)

浜崎 哲太郎(2) 合技 ○藤倉 正久(2)

藤原 芳隆(2) 引分 藤原 徹(2)

吉田 君雄(2) 大外刈 ○大根田 徹(2)

齋藤 守正(2) 背負投 大根田

齋藤 正典(2) 引分 石原 訓義(2)

小林 正典(2) 引分 金子 隆志(2)

中堅 稻留 秀明(2) 大内刈 ○瀬田 博良(2)

豊田 雅一(2) 大内刈 ○瀬田 博良(2)

西島 良信(2) 巴投 ○瀬田 博良(2)

西島 裕(2) 引分 新井 茂夫(2)

岩佐 裕(2) 大内刈 ○牛野 健一郎(2)

山田 百郎(2) 引分 牛野 浩(2)

羽鳥 順(2) 引分 小堀 雅次(2)

山田 公平(2) 優勢 中堅 野沢 正次(2)

山田 雄三(2) 引分 菅原 正輝(2)

近藤 幸男(2) 大内刈 ○室井 秀嗣(2)

大城 朝幸(2) 合技 ○室井 秀嗣(2)

大城 朝幸(2) 合技 大久保 進(2)

大城 朝幸(2) 優勢 渡辺 篤(2)

大城 朝幸(2) 背負投 安井 孝明(2)

大城 朝幸(2) 横四方 伊藤 芳人(2)

副将

中堅

中堅

大将 桜田 裕(3) 引分 金 一 男(3)

副将 渡 辺 寛(3)
 白 松 和 久(3)
 豊 田 正 幸(3)
 大将 高 野 明 久(3)

優秀選手

本 塾 大城朝幸、西島良信

早 稲 田 吉沢正伸、瀬田博良

本年も前半、とくに早稲田の先鋒、次鋒に大きく抜かれて本塾は敗れてしまった。この中であって大城がよく頑張り、四人を抜いたのが光った。対戦成績は本塾の四勝十八敗一引分。